

## 省エネ住宅ポイント対象住宅 設計内容説明書について

### 【概要】

本ツールでは省エネ住宅ポイント対象住宅証明の技術的審査の申請に必要な「設計内容説明書」が作成できます。

サービス提供時以降の省エネ住宅ポイント対象住宅証明の技術的審査を申請する住宅に限り、本ツールをご利用いただくことができます。

### 【作成について】

#### 共通事項

及び は、プルダウンメニューから、及び に選択できます。該当項目にチェックを入れてください

**黄色セル** は、文字や数値を直接入力します。

**青色セル** は、原則として、プルダウンメニューから選択します。直接入力も可能です。

プルダウンメニューに適切な文字や数値がない場合は、セルに直接入力してください。

#### 設計内容説明書

**鉄筋コンクリート造 / 鉄骨鉄筋コンクリート造専用です。**

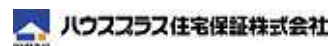
一戸建て住宅について	使用する設計内容説明書										
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">トップランナー基準</td> </tr> <tr> <td>外皮計算（H11年基準） 断熱の性能区分、Q値、U値、R値</td> <td>設3-1～3-3（5-1 省エネルギー対策等級）の内、WEBプログラム上入力する部分</td> </tr> <tr> <td>外皮計算（H25年基準） 断熱の性能区分、UA値（区分換算）、U値、R値</td> <td>設1-1～1-3（5-1 断熱等性能等級）の内、WEBプログラム上入力する部分</td> </tr> <tr> <td>5-1 断熱等性能等級（区分換算）</td> <td>設1-1～1-4（5-1 断熱等性能等級）</td> </tr> <tr> <td>5-1 省エネルギー対策等級（区分換算）</td> <td>設3-1～3-4（5-1 省エネルギー対策等級）</td> </tr> </table>	トップランナー基準		外皮計算（H11年基準） 断熱の性能区分、Q値、U値、R値	設3-1～3-3（5-1 省エネルギー対策等級）の内、WEBプログラム上入力する部分	外皮計算（H25年基準） 断熱の性能区分、UA値（区分換算）、U値、R値	設1-1～1-3（5-1 断熱等性能等級）の内、WEBプログラム上入力する部分	5-1 断熱等性能等級（区分換算）	設1-1～1-4（5-1 断熱等性能等級）	5-1 省エネルギー対策等級（区分換算）	設3-1～3-4（5-1 省エネルギー対策等級）	
トップランナー基準											
外皮計算（H11年基準） 断熱の性能区分、Q値、U値、R値	設3-1～3-3（5-1 省エネルギー対策等級）の内、WEBプログラム上入力する部分										
外皮計算（H25年基準） 断熱の性能区分、UA値（区分換算）、U値、R値	設1-1～1-3（5-1 断熱等性能等級）の内、WEBプログラム上入力する部分										
5-1 断熱等性能等級（区分換算）	設1-1～1-4（5-1 断熱等性能等級）										
5-1 省エネルギー対策等級（区分換算）	設3-1～3-4（5-1 省エネルギー対策等級）										
一次エネルギー消費量等級5の性能を有する住宅	設2（5-2 一次エネルギー消費量等級）										

共同住宅等について	使用する設計内容説明書							
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">トップランナー基準相当の共同住宅等</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">断熱性能要件</td> <td>5-1 断熱等性能等級</td> <td>設1-1～1-4（5-1 断熱等性能等級）</td> </tr> <tr> <td>5-1 省エネルギー対策等級</td> <td>設3-1～3-4（5-1 省エネルギー対策等級）</td> </tr> </table>	トップランナー基準相当の共同住宅等		断熱性能要件	5-1 断熱等性能等級	設1-1～1-4（5-1 断熱等性能等級）	5-1 省エネルギー対策等級	設3-1～3-4（5-1 省エネルギー対策等級）	
トップランナー基準相当の共同住宅等								
断熱性能要件	5-1 断熱等性能等級	設1-1～1-4（5-1 断熱等性能等級）						
	5-1 省エネルギー対策等級	設3-1～3-4（5-1 省エネルギー対策等級）						
一次エネルギー消費量等級5の性能を有する住宅	設2（5-2 一次エネルギー消費量等級）							

設計の内容を示す数値や仕様の他、それらが示されている「記載図書」も必ず入力してください。

**本ツールの使用に起因する一切の不利益に関して、ハウスプラス住宅保証(株)はその責任を負いません。使用者の責任においてご活用ください。**

**本ツールは、ハウスプラス住宅保証(株)への省エネ住宅ポイント対象住宅証明の技術的審査の申請を目的に作成されています。上記の目的以外に、当社の許可なく、本ツールを複写、加工し、一般に公開、配布することを禁じます。**



申込みにおける建方  
 一戸建て住宅（右記の記載不要）  
 共同住宅等

住戸タイプ		温熱1/4
部屋番号		No 1
省エネ住宅ポイント対象住宅証明依頼書 別紙 一括依頼住宅番号整理表による		

設計内容説明書 < 鉄筋コンクリート造等用 > 5-1 断熱等性能等級

(第1-1面)

の欄を設計者が記入のこと

性能表示事項 5-1	躯体の断熱性能等	開口部の断熱性能等	5-1ハ
		開口部の断熱性能	結露発生防止対策
性能基準	外皮平均熱貫流率	冷房期の 日射熱取得率	結露発生防止
仕様基準 (設計施工指針附則)	開口部比率等の基準に適合		
	熱貫流率 + 構造 熱抵抗値 + 熱橋部	開口部の 熱貫流率	開口部の 日射遮蔽仕様
等級	項目	設計内容	記載図書
地域区分			確認欄
温熱環境・エネルギー消費量に関すること	建築主等判断基準・設計施工指針(本則)		
	躯体の断熱性能等	外皮平均熱貫流率 U <sub>A</sub> 値 建築主等判断基準 設計施工指針(本則) 設計値 ( 別途計算書による W/m <sup>2</sup> )	外皮平均熱貫流率 日射熱取得率計算書 断熱範囲図 計算U値計算書 仕上表 平面図 矩計図
	開口部の断熱性能等	冷房期の平均日射熱取得率 A値 建築主等判断基準 設計施工指針(本則) 設計値 ( 別途計算書による )	
	設計施工指針(附則)		
	適用条件	住戸の床の過半が外気等に接していないか 接していない 接している (附則利用不可) 開口部比率 一戸建ての住宅 共同住宅等	1・2・3 4・5・6・7・8 0.11 0.13 0.09 0.08 未滿 未滿
	躯体の断熱性能等	断熱材仕様 ( ) 外断熱 断熱材厚さ ( mm ) 熱伝導率 ( W/m・K ) 内断熱 熱抵抗値 ( m <sup>2</sup> ・K/W ) 熱貫流率 ( W/m <sup>2</sup> ・K )	開口部比率計算書 断熱範囲図 計算U値計算書 仕上表 平面図 矩計図
	2/11	断熱材仕様 ( ) 外断熱 断熱材厚さ ( mm ) 熱伝導率 ( W/m・K ) 内断熱 熱抵抗値 ( m <sup>2</sup> ・K/W ) 熱貫流率 ( W/m <sup>2</sup> ・K )	
	3/11	断熱材仕様 ( ) 外断熱 断熱材厚さ ( mm ) 熱伝導率 ( W/m・K ) 内断熱 熱抵抗値 ( m <sup>2</sup> ・K/W ) 熱貫流率 ( W/m <sup>2</sup> ・K )	
	4/11	断熱材仕様 ( ) 外断熱 断熱材厚さ ( mm ) 熱伝導率 ( W/m・K ) 内断熱 熱抵抗値 ( m <sup>2</sup> ・K/W ) 熱貫流率 ( W/m <sup>2</sup> ・K )	
	5/11	断熱材仕様 ( ) 外断熱 断熱材厚さ ( mm ) 熱伝導率 ( W/m・K ) 内断熱 熱抵抗値 ( m <sup>2</sup> ・K/W ) 熱貫流率 ( W/m <sup>2</sup> ・K )	
6/11	断熱材仕様 ( ) 外断熱 断熱材厚さ ( mm ) 熱伝導率 ( W/m・K ) 内断熱 熱抵抗値 ( m <sup>2</sup> ・K/W ) 熱貫流率 ( W/m <sup>2</sup> ・K )		
7/11	断熱材仕様 ( ) 外断熱 断熱材厚さ ( mm ) 熱伝導率 ( W/m・K ) 内断熱 熱抵抗値 ( m <sup>2</sup> ・K/W ) 熱貫流率 ( W/m <sup>2</sup> ・K )		
8/11	断熱材仕様 ( ) 外断熱 断熱材厚さ ( mm ) 熱伝導率 ( W/m・K ) 内断熱 熱抵抗値 ( m <sup>2</sup> ・K/W ) 熱貫流率 ( W/m <sup>2</sup> ・K )		

申込みにおける建方  
 一戸建て住宅（右記の記載不要）  
 共同住宅等

住戸タイプ		温熱2/4
部屋番号		No 1
省エネ住宅ポイント対象住宅証明依頼書 別紙 一括依頼住宅番号整理表による		

設計内容説明書 < 鉄筋コンクリート造等用 > 5-1 断熱等性能等級

(第1 - 2面)

の欄を設計者が記入のこと

等級	設計内容説明欄			確認欄	
地域区分	項目	設計内容		記載図書	
温熱環境・エネルギー消費量に関すること	設計施工指針(附則)				
	躯体の断熱性能等 9/11	断熱材仕様 ( )	外断熱		平面図 基礎伏図  断熱範囲図
		断熱材厚さ ( mm) 熱伝導率 ( W/m·K)	内断熱		
		熱抵抗値 ( m <sup>2</sup> ·K/W) 熱貫流率 ( W/m <sup>2</sup> ·K)			
	10/11	断熱材仕様 ( )	外断熱		
		断熱材厚さ ( mm) 熱伝導率 ( W/m·K)	内断熱		
		熱抵抗値 ( m <sup>2</sup> ·K/W) 熱貫流率 ( W/m <sup>2</sup> ·K)			
	11/11	断熱材仕様 ( )	外断熱		
		断熱材厚さ ( mm) 熱伝導率 ( W/m·K)	内断熱		
		熱抵抗値 ( m <sup>2</sup> ·K/W) 熱貫流率 ( W/m <sup>2</sup> ·K)			
浴室下部の断熱 戸建住宅記載要	基礎断熱工法 土間床の外周部の部分に準ずる その他 ( 不問 該当箇所なし ) ( 断熱材 ) 浴室下部を断熱措置の上、壁・床等との取合部に 気流止めを設置し、床下換気措置				
構造熱橋部の基準	内断熱工法				
地域区分	1, 2	3, 4	5, 6, 7	8	
断熱補強範囲	900	600	450	-	以上
熱抵抗基準値	0.6	0.6	0.6	-	以上
	外断熱工法				
地域区分	1, 2	3, 4	5, 6, 7	8	
断熱補強範囲	450	300	200	-	以上
熱抵抗基準値	0.6	0.6	0.6	-	以上
等級4の場合のみ記入	断熱材の種類 ( )				
天井	断熱材の厚さ ( mm)	熱伝導率 ( W/m·K)			
	熱抵抗値 ( W/m <sup>2</sup> ·K)				
壁	断熱材の種類 ( )	断熱材の厚さ ( mm)			
	熱伝導率 ( W/m·K)	熱抵抗値 ( W/m <sup>2</sup> ·K)			
床	断熱材の種類 ( )	断熱材の厚さ ( mm)			
	熱伝導率 ( W/m·K)	熱抵抗値 ( W/m <sup>2</sup> ·K)			

申込みにおける建方  
 一戸建て住宅（右記の記載不要）  
 共同住宅等

住戸タイプ		温熱3/4
部屋番号		No 1
省エネ住宅ポイント対象住宅証明依頼書 別紙 一括依頼住宅番号整理表による		

設計内容説明書 < 鉄筋コンクリート造等用 > 5-1 断熱等性能等級

(第1 - 3面)

の欄を設計者が記入のこと

等級	設計内容説明欄				確認欄		
地域区分	項目	設計内容			記載図書		
温熱環境・エネルギー消費量に関すること	設計施工指針(附則)						
	開口部の断熱性能等	開口部比率の区分	地域区分			開口部比率計算書	
			1, 2及び3	4, 5, 6及び7	8		
			(い)	0.07未満	0.08未満		0.08未満
		一戸建ての住宅	(ろ)	0.07以上 0.09未満	0.08以上 0.11未満		0.08以上 0.11未満
			(は)	0.09以上 0.11未満	0.11以上 0.13未満		0.11以上 0.13未満
			(い)	0.05未満	0.05未満		0.05未満
		共同住宅等	(ろ)	0.05以上 0.07未満	0.05以上 0.07未満		0.05以上 0.07未満
			(は)	0.07以上 0.09未満	0.07以上 0.08未満		0.07以上 0.08未満
			開口部の断熱性能	開口部の熱貫流率 W/m <sup>2</sup> K 2%緩和の適用あり			2%緩和計算書 計算U値計算書
		開口部比率区分	下記選択数値以下 8地域基準なし				
	1, 2及び3		4	5, 6及び7			
	(い)		2.91	4.07	6.51		
	(ろ)		2.33	3.49	4.65		
	(は)	1.90	2.91	4.07			
	開口部の熱貫流率		仕様U値	計算U値	併用		
	窓の日射遮蔽仕様	窓の日射遮蔽仕様 4%緩和の適用あり			4%緩和計算書		
	一戸建ての住宅	地域区分	開口部比率	建具の種類若しくはその他又は付属部材、ひさし、軒等の設置			
			1~4地域	(い)	-		
		5~7地域	(ろ)	-			
(は)			-				
(い)			-				
(ろ)			ガラスの日射取得率が0.74以下であるもの 付属部材又はひさし、軒等を設けるもの				
8地域		(は)	ガラスの日射取得率が0.49下であるもの ガラスの日射取得率が0.74以下であるものに、ひさし、軒等を設けるもの 付属部材(南±22.5度に設置するものについては、外付けブラインドに限る)を設けるもの				
		(い)	付属部材又はひさし、軒等を設けるもの				
		(ろ)	ガラスの日射取得率が0.68以下であるものに、ひさし、軒等を設けるもの 付属部材を設けるもの				
		(は)	ガラスの日射取得率が0.49以下であるものに、 付属部材(南±22.5度に設置するものについては、外付けブラインドに限る)又はひさし、軒等を設けるもの				
共同住宅等		1~4地域	(い)	-			
			(ろ)	-			
	(は)		-				
	5~7地域	(い)	-				
		(ろ)	-				
		(は)	-				
	8地域	(い)	-				
		(ろ)	付属部材又はひさし、軒等を設けるもの				
		(は)	ガラスの日射取得率が0.68以下であるものに、ひさし、軒等を設けるもの 付属部材を設けるもの				
	<p>「付属部材」 紙障子と外付けブラインドその他これらと同等以上の日射遮蔽性能を有し、開口部に建築的に取り付けられるもの</p> <p>「ひさし、軒等」の設置の場合の仕様 オーバーハング型日除けで、外壁からの出寸法がその下端から窓下端までの高さの0.3倍以上</p>						

申込みにあける建方  
 一戸建て住宅（右記の記載不要）  
 共同住宅等

住戸タイプ		温熱4/4
部屋番号		No 1
省エネ住宅ポイント対象住宅証明依頼書 別紙 一括依頼住宅番号整理表による		

設計内容説明書 < 鉄筋コンクリート造等用 > 5-1 断熱等性能等級

(第1 - 4面)

の欄を設計者が記入のこと

等級	設計内容説明欄				確認欄					
地域区分	項目	設計内容			記載図書					
温熱環境・エネルギー消費量に関する事	結露の発生を防止する対策に関する基準	結露の発生を防止する対策	a 透湿抵抗の小さい断熱材の使用有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 繊維系断熱材等、プラスチック系断熱材等 <small>(JIS A 9511 発泡プラスチック保温材 [ただしフェノールフォーム保温版3種2号除く]          JIS A 9526 建築物断熱用吹付ウレタンフォームに規定する吹付硬質ウレタンフォーム A種1、A種2に適合するものを除く)</small> 断熱材の室内側へ防湿層を設ける 以下による除外の適用 ⑧地域を除く コンクリート躯体の外側に断熱層がある場合を除く 床断熱において、断熱材下側が床下に露出するか、湿気の放出を妨げない構成を除く 透湿抵抗比 部位: ( <input type="text"/> 以上 ) 一次元の定常計算により 結露域が生じないことが確認される			断熱範囲図				
			b 屋根又は外壁を断熱構造とし、断熱層の外気側への通気層の設置、その他換気上有効な措置を講じている <input type="checkbox"/> 該当しない <input type="checkbox"/> 措置あり <input type="checkbox"/> 措置なし							
			c 鉄筋コンクリート造 構造熱橋部(玄関床部分を除く)の断熱補強あり 建設地の気象データを用いた計算により、 構造熱橋部に結露が発生しないことを確かめている 内断熱工法 構造熱橋部 梁・柱が室外側に突出している			構造熱橋部結露検討書 断熱範囲図				
			床面	断熱補強範囲	1,2	3		4	5	以上
				熱抵抗基準値	500	200		150	125	以上
			壁面	断熱補強範囲	0.4	0.1		0.1	0.1	以上
				熱抵抗基準値	100	-		-	-	以上
			梁・柱が室外側に突出している							
			床面	断熱補強範囲	200	75		50	-	以上
				熱抵抗基準値	0.2	0.1		0.1	-	以上
			壁面	断熱補強範囲	150	75		50	-	以上
				熱抵抗基準値	0.2	0.1		0.1	-	以上
			梁・柱が室内側、室外側のいずれにも突出していない							
			床面	断熱補強範囲	200	100		75	-	以上
				熱抵抗基準値	0.2	0.1		0.1	-	以上
壁面	断熱補強範囲	200	75	75	-	以上				
	熱抵抗基準値	0.2	0.1	0.1	-	以上				
床面	断熱材の種類 ( <input type="text"/> ) 断熱材の厚さ ( <input type="text"/> mm ) 熱伝導率 ( <input type="text"/> W/mK ) 熱抵抗値 ( <input type="text"/> m <sup>2</sup> K/W )									
壁面	断熱材の種類 ( <input type="text"/> ) 断熱材の厚さ ( <input type="text"/> mm ) 熱伝導率 ( <input type="text"/> W/mK ) 熱抵抗値 ( <input type="text"/> m <sup>2</sup> K/W )									
外断熱工法 構造熱橋部 梁・柱が室内側に突出している										
床と壁の取合部		断熱補強範囲	1,2	75	以上					
		熱抵抗基準値	0.1	0.1	以上					
梁・柱が室内側、室外側のいずれにも突出していない										
壁と屋根の取合部		断熱補強範囲	50	50	以上					
		熱抵抗基準値	0.1	0.1	以上					
床と壁の取合部	断熱材の種類 ( <input type="text"/> ) 断熱材の厚さ ( <input type="text"/> mm ) 熱伝導率 ( <input type="text"/> W/mK ) 熱抵抗値 ( <input type="text"/> m <sup>2</sup> K/W )									
壁と屋根の取合部	断熱材の種類 ( <input type="text"/> ) 断熱材の厚さ ( <input type="text"/> mm ) 熱伝導率 ( <input type="text"/> W/mK ) 熱抵抗値 ( <input type="text"/> m <sup>2</sup> K/W )									
d	鉄筋コンクリート造 / 内断熱工法 断熱材をコンクリート躯体に全面密着等の措置あり									

申込みにおける建方  
 一戸建て住宅（右記の記載不要）  
 共同住宅等

住戸タイプ		一次エネ1/1
部屋番号		No 1
省エネ住宅ポイント対象住宅証明依頼書 別紙 一括依頼住宅番号整理表による		

設計内容説明書 < 鉄筋コンクリート造等用 > 5-2 一次エネルギー消費量等級

(第2面)

の欄を設計者が記入のこと

等級	項目	設計内容	記載図書	確認欄	
地域区分					
温熱環境・エネルギー消費量に関すること	評価適用基準				
	一次エネルギー消費量基準		一次エネルギー消費量計算結果		
	設計施工指針 附則6	戸建	外皮等面積の床面積比率に適合する 1～3地域 2.9以下 4～8地域 2.8以下	外皮等面積 床面積比率計算書	
		共同等	1～3地域 $0.3 \times (\text{界壁} \cdot \text{界床等面積合計} / \text{床面積合計}) + 2.9$ 以下 4～8地域 $0.5 \times (\text{界壁} \cdot \text{界床等面積合計} / \text{床面積合計}) + 2.7$ 以下	床面積比率計算書	
		外皮性能 5-1における外皮性能が等級4の基準に適合相当(結露発生防止基準を除く) 設計施工指針附則5に適合	外皮性能適合確認書類 附則適合確認書類		
5-2 一次エネルギー消費量等級	一次エネルギー消費量	一次エネルギー消費量基準 (建築主等判断基準) 設計一次エネルギー消費量 (別途計算書による GJ/年) 基準一次エネルギー消費量 (別途計算書による GJ/年)	仕上表 平面図 矩計図		
基本事項等	面積等	主たる居室の面積 ( ) その他の居室の面積 ( ) 床面積の合計 (別途計算書による m <sup>2</sup> )			
	単位温度差当たりの外皮熱損失量(q) 単位日射強度当たりの冷房期の日射熱取得量(mc) 単位日射強度当たりの暖房期の日射熱取得量(mh) 床面積あたりの一次エネルギー消費量 (別途計算書による MJ/(m <sup>2</sup> ・年))				
設備機器概要	自然風利用 蓄熱利用	自然風の利用 ( ) 蓄熱の利用 ( )			
	暖房方式 換気設備方式 給湯設備 照明設備 太陽光発電設備の採用	暖房方式 ( ) 換気設備方式 ( ) 給湯設備 ( ) 配管方式 ( ) 主たる居室 ( ) その他の居室 ( ) ソージェネレーション設備の採用 ( )	平面図 機器表 系統図		
	設計施工指針附則6 (設計施工指針附則)				
一次エネルギー消費量に関すること	暖房設備 (8地域を除く)		一次エネルギー消費量計算結果		
	単位住戸全体を暖房する方式	ダクト式セントラル空調であってヒートポンプが熱源			
	居室のみを暖房する方式				
	連続運転	1～4地域 石油熱源機を用いた 温水暖房用パネルラジエーター JIS S3031熱効率 83.0%以上 かつ、 配管に断熱被覆あり	5～7地域 ガス熱源機を用いた 温水暖房用パネルラジエーター JIS S2112熱効率 82.5%以上 かつ、 配管に断熱被覆あり		
	間歇運転	密閉式石油ストーブ(強制対流式) JIS S3031熱効率 86.0%以上	ルームコンディショナー JIS B8615-1 暖房能力を消費電力で除した数値が -0.321 × 暖房能力(KW)+6.16以上		
	これと同等以上の評価となる				
	冷房設備				
	単位住戸全体を冷房する方式	ダクト式セントラル空調であってヒートポンプが熱源			
	居室のみを冷房する方式				
	間歇運転	ルームコンディショナー JIS B8615-1 冷房能力を消費電力で除した数値が -0.504 × 暖房能力(KW)+5.88以上		各設備での同等以上の評価となる等の評価とする場合、標準仕様の計算書と設計設備仕様で計算した一次エネルギー消費量計算結果が必要となります	
これと同等以上の評価となる					
換気設備	全般換気設備の比消費電力 換気回数0.5回以下の場合において0.3(W/(m <sup>3</sup> /h))以下 これと同等以上の評価となる				
照明設備	非居室に白熱灯を採用しない これと同等以下の性能の照明設備を採用しない				
給湯設備					
	1～4地域	5～8地域			
	石油給湯機 JIS S2075 モード熱効率 81.3%以上	ガス給湯機 JIS S2075 モード熱効率 78.2%以上			
	これと同等以上の評価となる				

申込みにおける建方  
 一戸建て住宅（右記の記載不要）  
 共同住宅等

住戸タイプ		温熱1/4
部屋番号		No 1
省エネ住宅ポイント対象住宅証明依頼書 別紙 一括依頼住宅番号整理表による		

設計内容説明書 < 鉄筋コンクリート造等用 > **5-1 省エネルギー対策等級**

(第3 - 1面)

の欄を設計者が記入のこと

性能表示事項 5 - 1	躯体の断熱性能	開口部の断熱性能	結露発生防止対策	
5 - 1 イ 熱損失係数等基準	熱損失係数	夏期日射取得係数	結露発生防止	
5 - 1 ロ 熱貫流率等基準	熱貫流率 熱抵抗値	開口部の熱貫流率 開口部の建具仕様	窓の夏期日射侵入率 開口部の日射侵入防止	
等級	項目	設計内容	記載図書	
地域区分			確認欄	
温熱環境に関する こと	躯体の断熱性能に関する基準			
	5 - 1 イ 熱損失係数等基準	熱損失係数 Q値	熱損失係数の基準値 W/m <sup>2</sup> K 下記選択数値以下	
		等級4	1.6 1.9 2.4 2.7 2.7 3.7	
		等級3	1.8 2.7 3.1 3.6 3.9 6.2	
		等級2	2.8 4.0 4.4 4.9 7.1 7.1	
		上記計算値は熱損失計算書を添付要 開口部の熱貫流率 仕様U値 計算U値 併用 小規模な住宅 冬季に日射を積極的に取り入れることが可能な住宅		
			熱損失計算書 断熱範囲図 平面図 矩計図 計算U値計算書	
	5 - 1 ロ 熱貫流率等基準	1/11	断熱材仕様 ( ) 外断熱 断熱材厚さ ( ) 内断熱 熱伝導率 ( W/m·K) 熱抵抗値 ( m <sup>2</sup> ·K/W) 熱貫流率 ( W/m <sup>2</sup> ·K)	断熱範囲図 平面図 矩計図
	躯体の 断熱性能等 1/2	2/11	断熱材仕様 ( ) 外断熱 断熱材厚さ ( ) 内断熱 熱伝導率 ( W/m·K) 熱抵抗値 ( m <sup>2</sup> ·K/W) 熱貫流率 ( W/m <sup>2</sup> ·K)	
		3/11	断熱材仕様 ( ) 外断熱 断熱材厚さ ( ) 内断熱 熱伝導率 ( W/m·K) 熱抵抗値 ( m <sup>2</sup> ·K/W) 熱貫流率 ( W/m <sup>2</sup> ·K)	
4/11		断熱材仕様 ( ) 外断熱 断熱材厚さ ( ) 内断熱 熱伝導率 ( W/m·K) 熱抵抗値 ( m <sup>2</sup> ·K/W) 熱貫流率 ( W/m <sup>2</sup> ·K)		
5/11		断熱材仕様 ( ) 外断熱 断熱材厚さ ( ) 内断熱 熱伝導率 ( W/m·K) 熱抵抗値 ( m <sup>2</sup> ·K/W) 熱貫流率 ( W/m <sup>2</sup> ·K)		
6/11		断熱材仕様 ( ) 外断熱 断熱材厚さ ( ) 内断熱 熱伝導率 ( W/m·K) 熱抵抗値 ( m <sup>2</sup> ·K/W) 熱貫流率 ( W/m <sup>2</sup> ·K)		
7/11		断熱材仕様 ( ) 外断熱 断熱材厚さ ( ) 内断熱 熱伝導率 ( W/m·K) 熱抵抗値 ( m <sup>2</sup> ·K/W) 熱貫流率 ( W/m <sup>2</sup> ·K)		
8/11		断熱材仕様 ( ) 外断熱 断熱材厚さ ( ) 内断熱 熱伝導率 ( W/m·K) 熱抵抗値 ( m <sup>2</sup> ·K/W) 熱貫流率 ( W/m <sup>2</sup> ·K)		
9/11		断熱材仕様 ( ) 外断熱 断熱材厚さ ( ) 内断熱 熱伝導率 ( W/m·K) 熱抵抗値 ( m <sup>2</sup> ·K/W) 熱貫流率 ( W/m <sup>2</sup> ·K)		

申込みにおける建方  
 一戸建て住宅（右記の記載不要）  
 共同住宅等

住戸タイプ		温熱2/4
部屋番号		No 1
省エネ住宅ポイント対象住宅証明依頼書 別紙 一括依頼住宅番号整理表による		

設計内容説明書 < 鉄筋コンクリート造等用 > **5-1 省エネルギー対策等級**

(第3 - 2面)

の欄を設計者が記入のこと

等級	項目	設計内容	記載図書	確認欄		
地域区分						
温熱環境に関する こと	5 - 1 口 熱貫流率等基準	10/11 断熱材仕様 ( ) 外断熱 断熱材厚さ ( ) 内断熱 断熱材厚さ ( mm) 熱伝導率 ( W/m·K) 熱抵抗値 ( m <sup>2</sup> ·K/W) 熱貫流率 ( W/m <sup>2</sup> ·K)				
	躯体の 断熱性能等 2/2	11/11 断熱材仕様 ( ) 外断熱 断熱材厚さ ( ) 内断熱 断熱材厚さ ( mm) 熱伝導率 ( W/m·K) 熱抵抗値 ( m <sup>2</sup> ·K/W) 熱貫流率 ( W/m <sup>2</sup> ·K)				
	構造熱橋部 の基準	内断熱工法 地域区分 断熱補強範囲 900 600 450 - 以上 熱抵抗基準値 0.6 0.6 0.6 - 以上 外断熱工法 地域区分 断熱補強範囲 450 300 200 - 以上 熱抵抗基準値 0.6 0.6 0.6 - 以上				
	等級4の 場合のみ記入 (地域を除く)	断熱材の種類 ( ) 天井 断熱材の厚さ ( mm) 熱伝導率 ( W/m·K) 熱抵抗値 ( W/m <sup>2</sup> ·K)				
		断熱材の種類 ( ) 壁 断熱材の厚さ ( mm) 熱伝導率 ( W/m·K) 熱抵抗値 ( W/m <sup>2</sup> ·K)				
		断熱材の種類 ( ) 床 断熱材の厚さ ( mm) 熱伝導率 ( W/m·K) 熱抵抗値 ( W/m <sup>2</sup> ·K)				
		窓、屋根又は天井、開口部の断熱性能強化により、断熱補強を省略する 緩和検討書添付要				
	開口部の断熱性能等に関する基準					
	5 - 1 口 熱貫流率等基準	開口部の熱貫流率			・ 開口部の熱貫流率 W/m <sup>2</sup> K 下記選択数値以下 2%緩和の適用あり	2%緩和計算書 計算U値計算書
	開口部の 断熱性能等	等級4 等級3 等級2			2.33 2.33 3.49 4.65 4.65 6.51 2.33 3.49 4.65 6.51 6.51 6.51 3.49 4.65 6.51 6.51 6.51 6.51	
		開口部の熱貫流率 仕様U値 計算U値 併用				
	開口部の 建具仕様	・ 開口部の建具仕様 2%緩和の適用あり				
		窓又は引き戸 建具の種類・組み合わせ 代表的なガラスの組み合わせ	2%緩和計算書			
		窓、引き戸 又は框ドア 建具の種類・組み合わせ 代表的なガラスの組み合わせ				
		ドア 建具の種類・組み合わせ 代表的なガラスの組み合わせ				



申込みにおける建方  
 一戸建て住宅（右記の記載不要）  
 共同住宅等

住戸タイプ		温熱3/4
部屋番号		No 1
省エネ住宅ポイント対象住宅証明依頼書 別紙 一括依頼住宅番号整理表による		

設計内容説明書 < 鉄筋コンクリート造等用 > **5-1 省エネルギー対策等級**

(第3 - 3面)

の欄を設計者が記入のこと

等級	項目	設計内容	記載図書	確認欄
地域区分				
温熱環境に関すること	5-1イ 夏期日射取得係数等 熱損失係数等 基準	夏期日射取得係数 μ値	夏期日射取得係数の基準値 下記選択数値以下	夏期日射取得係数計算書
		等級4	0.08 0.08 0.07 0.07 0.07 0.06	
		等級3	- - 0.10 0.10 0.10 0.08	
		上記計算値は夏期日射取得係数計算書を添付要 計算U値による夏期日射取得係数計算はできません 計算U値による計算プログラム上の日射侵入率は使用することはできません		
5-1ロ 熱貫流率等 基準 開口部の 日射 侵入防止	窓の夏期日射侵入率	窓の夏期日射侵入率 下記選択数値以下	4%緩和計算書 夏期日射侵入率計算書	
		4%緩和の適用あり		
		等級4		真北±30° 0.52 0.52 0.55 0.55 0.55 0.60 上記以外 0.52 0.52 0.45 0.45 0.45 0.40
		等級3		真南±112.5° - - 0.60 0.60 0.60 0.60
計算U値による計算プログラム上の日射侵入率は使用することはできません				
開口部の建具、 付属部材、ひさし、軒 その他日射の侵入防止	開口部の建具、 付属部材、ひさし、軒 その他日射の侵入防止	開口部の建具、付属部材他、日射侵入防止部材仕様	4%緩和計算書	
		4%緩和の適用あり		
		等級4		地域 仕様
		全方位		ガラスの日射侵入率 0.66以下 付属部材又はひさし、軒等を設ける
		真北±30°		ガラスの日射侵入率 0.70以下 付属部材を設ける
		上記以外		ガラスの日射侵入率 0.57以下 付属部材又はひさし、軒等を設ける
		真北±30°		ガラスの日射侵入率 0.60以下 付属部材を設ける
		上記以外		ガラスの日射侵入率 0.49以下 ガラスの日射侵入率 0.66未満 + 付属部材又はひさし、軒等 内付けブラインド又はこれと同等以上の日射遮蔽性能付属部材 付属部材及びひさし、軒等を設ける
		真北±30°		ガラスの日射侵入率 0.66以下 付属部材を設ける
		上記以外		ガラスの日射侵入率 0.43以下 遮熱複層ガラス・遮熱低放射複層ガラス + 付属部材又はひさし、軒等 紙障子又はこれと同等以上の日射遮蔽性能付属部材 付属部材及びひさし、軒等を設ける
等級3	東北東から南を経て 西北西まで	ガラスの日射侵入率 0.66以下 付属部材又はひさし、軒等を設ける		
「ひさし、軒等」の設置の場合の仕様 オーバーハング型日除けで、東南から南を経て南西までの方位に設置 外壁からの出寸法がその下端から窓下端までの高さの0.3倍以上				

申込みにおける建方  
 一戸建て住宅（右記の記載不要）  
 共同住宅等

住戸タイプ		温熱4/4
部屋番号		No 1
省エネ住宅ポイント対象住宅証明依頼書 別紙 一括依頼住宅番号整理表による		

設計内容説明書 < 鉄筋コンクリート造等用 > **5-1 省エネルギー対策等級**

(第3 - 4面)

の欄を設計者が記入のこと

等級	設計内容説明欄				確認欄				
地域区分	項目	設計内容			記載図書				
温熱環境・エネルギー消費量に関する事	結露の発生を防止する対策に関する基準 5-1イ 熱損失係数等基準 5-1ロ 熱貫流率等基準	等級4 ~ 等級3 及び 等級2	透湿抵抗の小さい断熱材の使用有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 繊維系断熱材等、プラスチック系断熱材等 (JIS A 9511 発泡プラスチック保温材 [ただしフェノールフォーム保温版3種2号除く] JIS A 9526 建築物断熱用吹付ウレタンフォームに規定する吹付硬質ウレタンフォーム A種1、A種2に適合するものを除く) 断熱材の室内側へ防湿層を設ける 以下による除外の適用 地域を除く コンクリート躯体の外側に断熱層がある場合を除く 床断熱において、断熱材下側が床下に露出するか、湿気の放出を妨げない構成を除く 透湿抵抗比 部位: ( ) 以上 一次元の定常計算により 結露域が生じないことが確認される			断熱範囲図	確認欄		
		等級2	屋根又は外壁を断熱構造とし、断熱層の外気側への通気層の設置、その他換気上有効な措置を講じている <input type="checkbox"/> 該当しない <input type="checkbox"/> 措置あり <input type="checkbox"/> 措置なし						
		地域のみ	鉄筋コンクリート造 構造熱橋部(玄関床部分を除く)の断熱補強あり 建設地の気象データを用いた計算により、 構造熱橋部に結露が発生しないことを確かめている 内断熱工法 構造熱橋部 梁・柱が室外側に突出している			構造熱橋部結露 検討書 断熱範囲図			
		床面	断熱補強範囲	500	200	150		125	以上
			熱抵抗基準値	0.4	0.1	0.1		0.1	以上
		壁面	断熱補強範囲	100	-	-		-	以上
			熱抵抗基準値	0.1	-	-		-	以上
			梁・柱が室外側に突出している						
		床面	断熱補強範囲	200	75	50		-	以上
			熱抵抗基準値	0.2	0.1	0.1		-	以上
		壁面	断熱補強範囲	150	75	50		-	以上
			熱抵抗基準値	0.2	0.1	0.1		-	以上
			梁・柱が室内側、室外側のいずれにも突出していない						
		床面	断熱補強範囲	200	100	75		-	以上
			熱抵抗基準値	0.2	0.1	0.1		-	以上
壁面	断熱補強範囲	200	75	75	-	以上			
	熱抵抗基準値	0.2	0.1	0.1	-	以上			
地域のみ	床面	断熱材の種類 ( ) 断熱材の厚さ ( mm) 熱伝導率 ( W/mK) 熱抵抗値 ( m <sup>2</sup> K/W)							
	壁面	断熱材の種類 ( ) 断熱材の厚さ ( mm) 熱伝導率 ( W/mK) 熱抵抗値 ( m <sup>2</sup> K/W)							
	地域のみ	外断熱工法 構造熱橋部 梁・柱が室内側に突出している							
		床と壁の	断熱補強範囲	75	以上				
		取合部	熱抵抗基準値	0.1	以上				
		梁・柱が室内側、室外側のいずれにも突出していない							
		壁と屋根の	断熱補強範囲	50	以上				
		取合部	熱抵抗基準値	0.1	以上				
	床と壁の取合部	断熱材の種類 ( ) 断熱材の厚さ ( mm) 熱伝導率 ( W/mK) 熱抵抗値 ( m <sup>2</sup> K/W)							
	壁と屋根の取合部	断熱材の種類 ( ) 断熱材の厚さ ( mm) 熱伝導率 ( W/mK) 熱抵抗値 ( m <sup>2</sup> K/W)							
		鉄筋コンクリート造 / 内断熱工法 断熱材をコンクリート躯体に全面密着等の措置あり							